

# 防災官の声

## 退職自衛官採用のメリット

自衛隊在任間に培われた、災害対処の実務能力(※)は、地方公共団体の危機管理対処能力を向上させます。

また、防災行政に関する首長等への的確な助言や自衛隊等関係機関とのネットワーク構築が期待できます。

### ※主な能力として

- ・ 指揮官が様々な状況に対し、的確な状況判断ができるよう補佐（情報収集、分析等）
- ・ 自衛隊の運用に関する知識と経験
- ・ 訓練指導能力及び調整能力などです。



福岡県を含む61市町村中21の自治体で採用（掲載日現在）  
今回は【**大刀洗町**】にご協力いただきました！

# 大刀洗町役場

投稿者  
総務課長

松元 治美 様

## 大刀洗町長の声(退職自衛官を採用して)

地球温暖化に伴い、近年の雨の降り方はこれまでの常識が通用しない頻度や強さで日本各地を襲っています。大刀洗町では、直近7年間のうち6年間が大雨災害となり、防災力の強化が町政の最大の課題となっています。

大河原さんには、自衛隊で培った経験や能力を十二分に発揮いただき、町の災害対応の中核として、業務にあたっていただくとともに、自主防災組織等の強化による地域防災力の向上にも貢献いただいています。

今後も、「誇れるよかまち たちあらい」のため、退職自衛官の皆様のお力を町政にお借りできればと願っております。



大刀洗町長 中山哲志 氏

## 退職自衛官の採用について

大刀洗町は、平成29年7月九州北部豪雨から、令和3年まで5年連続して水害に見舞われています。

近年、激甚化・頻発化する災害への対応として、町の危機管理体制の充実・強化を図るため、また、大規模災害時に支援いただく自衛隊との連携体制の強化を図るため平成30年4月に退職自衛官を防災危機管理専門官として採用しています。



令和2年7月豪雨 冠水した大刀洗町

## 防災官の仕事内容

### 【災害時】

災害対策本部等の設置・運営、気象・河川情報等の収集、避難情報の発令・避難所開設に関する判断の補佐、災害対応に関わる記録・情報共有、防災情報システム入力、自衛隊等関係機関との連絡調整

### 【平常時】

地域防災計画・国民保護計画・地域強靱化計画等の作成、各種マニュアル等の作成・修正、各種防災情報システムの管理、備蓄品の管理、職員の防災訓練等の実施、自主防災組織の強化、防災関係調査の整理、防犯及び交通安全業務の補助等、出前講座の実施等

## 防災官を採用して

自衛官として培われた能力・資格（地域防災マネージャー）をもって、町の防災に係る計画や各種マニュアルなどの作成・見直し、職員や地域の防災訓練の企画等、主としてソフト面の防災力強化に取り組んでいただいております。

特に、地域の防災力の要となる自主防災組織に対する訓練指導や小学校の防災授業の支援を通じた防災啓発、また、町内の各団体に対する出前講座により、地域の防災力の充実・強化に尽力いただいております。



自主防災組織の訓練支援

## 防災危機管理専門官に着任して

自衛官として得た知識（気象・地形）や技能（教育・訓練）、そして経験（幕僚勤務等）を活かせる第二の職業として、地方公共団体の防災部署への就職を希望していたところ、援護センターの親身なご尽力により、大刀洗町に防災危機管理専門官として採用していただくことができました。

着任当初は、知り合いや土地勘もなく、業務調整や災害予測の分析等に戸惑いましたが、今では顔見知りとなる人も増え、業務依頼の数が増えて、充実した日々を送っています。

大刀洗町は、山地がなく土砂災害の危険こそないものの、日本三大暴れ河川といわれる筑後川（中流域）の北岸に位置し、支流となる河川が町内を数線流れ、近年は、異常気象による大雨で水害が発生しています。また、少子高齢化による災害弱者の増加、都市化などによる地域コミュニティの脆弱化など、様々な環境が変化し、地域の防災力の低下が懸念されることから「町の第一優先事項は防災」と位置付けられており、防災を担う担当者の一として、責任の重さを強く感じていると同時に、やりがいを感じています。

今後も、災害に強いまちづくりに微力ながらも貢献できればと思っています。



大刀洗町役場 総務課  
防災危機管理専門官

大河原 守氏

（平成30年4月入職）

最終勤務部隊等  
自衛隊福岡地方協力本部 援護班長